

## 14 項 生協の組合員活動

### 組合員活動と地域・社会

#### ～くらしの中でみえる・みえない課題に どう取り組むのか？

#### 近本 聡子

愛知学泉大学家政学部ライフスタイル学科



生協に関わる方々、こんにちは。生協の組合員さんのくらしや、生協職員（正規職もパート職もすべて）の働き方、生協事業経営、マーケティング（商品と消費者が出会う場）、などこれまで30年ほど研究してきました近本聡子と申します。ここでは生協の組合員活動について、お話させていただきます。

#### 1) 活動の自由性

生協に関わることになり、生協について知りたいという皆さんが読んでくださるということですので、多様にある活動について少しまとめてみたいと思います。協同組合、とりわけ生協について研究する人はそう多くはないのですが、領域はとても広いと感じます。

先日、生協組合員になってから、組合員活動にはまり、自分の仕事を創り出すワークズ・コレクティブ<sup>1)</sup>に参画した藤井さん(WCNJ代表)のコメントを読みました<sup>2)</sup>。彼女は「生協の組合員活動は、すべてが学びと発見の連続でした。」と書いていますが、皆さんもご自身の関心と活動がフィットすると、とても充実した時間が過ごせるのではないかと確信しています。活動の始めで「専門家」という人はほほいません。普段のくらしから見えることや、気づいたことから始めることがほとんどです。

まず組合員活動は誰がどう作っている？ということから始めましょう。他項（第1項、第8項）で詳しく説明がありますが、生協という集団は日本では「組織」と呼ばれていて、組織の人々の行動をコントロールする方法や、予算を決める、例えば給料の体系や組合員さんの活動にどのくらいの費用を充てるか、決め方が決まっています。総代会や理事会についても仕組みを理解されたかと思います。

組合員の活動は、本来は組合員が自由に決めて自由に何でも活動できるのですが、組織

1) 生協組合員が自ら起業して運営する「仕事づくり」のひとつの形

2) 地域と協同の研究センター NEWS 2021 第201号

のミッションに反することは現在認められません。法的に禁止されていることもダメです。例えば、美味しいものを作ってお店の隣あたり（敷地内）で週1回販売したい、と考えたとすると、保健所でかなり煩雑な食品販売許可を受けられるよう工程管理をつくり、テナントを出すならその交渉が必要です。

また、日本の生協は歴史があるので、これまでの活動の蓄積や、活動のやり方・文化があり、自由ではありません。活動の先輩たちは、そのまま引き継いでもらいたいと考える人が多いと思います。また、活動に充てる予算も生協の事業の状態によってやりたいことを計画するのに十分ではない場合も多々あります。もちろん自分たちでファンディング（資金集め）もできます。

既にあるものや方法を変えていこうと考える場合、理事やリーダー層のみなさんは理事たちへのプッシュ、働くみなさんは管理職・経営層や理事たちへのプッシュが必要になります。大きな組織になっている生協、「すぐには難しいな」と心折れず、変えていけるということは是非心に留めておいてください。また、言われたことをやるのが活動ではありません。自分のこと、地域や仕事、見聞きしたこと、何でも素材になり、例えば「支援したい」「支えあいたい」と思えることを形にしていくことが活動です。調べたい、知りたいということも活動になります。私も調査や研究を手掛けるたくさんの組合員さんたちと一緒に活動をした経験があります。近年ですと、子どもの貧困は表だって見えないので、どういうところを見たらよいか、など知りたい方が多いですね。多くの生協は、購買事業を拡大すること、またくらしを豊かにすることをミッションにしていますので、生協の目的に資する組合員さんたちの活動に金銭やモノ、サポートなど支援を付けます。それらを利用すると、お互いよい関係を作れることも多いようです。逆に「子ども食堂に集中して」やってみたい、となると多くのNPO（特定非営利活動法人）リーダーさんたちのように、地域で独立していくことになると考えています。5節で少し紹介します。

## 2) 活動をする組合員ってどんな人？

組合員活動というからには、普通の市民の人ではなく（もちろん連携はたくさんありますが）組合員さんが活動をします。でも今2000万人以上の組合員が日本にはいますので、そう特別な人ではないですね。

生協によりませんが、昔は近所でグループを作って生協商品をまとめ買いする「班」「グループ」がありましたが、これらは当初から配達側の効率のために作られたもので、賛美する昔の人もいますが、現在は消費者ニーズに合わないので激減しました。昔は「安全な商品」を買うことが難しく、班活動そのものが消費者活動であり地域活動でした。

現代社会では、女性が就労することが多数派、それも30歳代ではフルタイム就労が半

数近くなってきましたので、日常の活動は勤労仕事の少ない女性組合員（専業主婦の人など）や退職後の人・年金生活の人が活動に参加しやすく、社会からみるとかなり偏ったものになりつつあります。なぜ女性？と思われる人もいると思いますが、組合員さんの95%弱<sup>3)</sup>が女性なのです。これは日本社会全体の課題ですが、ジェンダーギャップ指数(男女差を測るモノサシ)で世界120位<sup>4)</sup>の底辺国であることを頭の片隅に置いておいてください。でも、組合員活動では昔から女性の活躍の場になっているのも実態です。このように、組合員の仕事の状況も多様です。

年齢層も幅ひろいです。読者の皆さんの仲のいいご友人は同年齢が多いのではないのでしょうか。生協活動では、20代から80代の人々に出会えます。それぞれのライフステージで消費者ニーズ・生活ニーズは異なりますね。でも、先輩たちが到達している年齢で、どのようなことが起こるのか、とても多く学べる場になります。特に年長の活動歴のある方は若い人々を温かく見守っていただけるといいな、と思います。

収入層も高低さまざまです。年金生活層では、年200万円の収入で生活する人が多く、人生100年時代を見越して節約されているようです。家計活動(家計簿をつけて月ごとにどんな具合かをみる活動)をしている生協では、「子どもが大学に入るまでに」教育資金を準備することを学び、あまりに多大な出費があったけど乗り越えられた、という話がよく書かれています。今は家計アプリがありますが、一人でやるのは面倒ではないでしょうか？仲間がいると頑張ろうかな、と思えることを励ましあってやるのも活動です。

### 3) 活動の種類

日本全国の活動については日本生協連の「日本生協連の活動」サイトをご覧ください<sup>5)</sup>。皆さんの生協は、地域生協や医療生協と呼ばれる生協が多いのではないのでしょうか。それぞれの生協は歴史的な活動の経緯をもっています。「平和活動(核兵器戦争はしてはならないという啓発活動)」に熱心な生協もあれば、「商品の提案」を活動にする生協もあると思います。まず、先輩たちが作ってきた活動を、知ることから始めましょう。

例えば、牛乳パック・カン・瓶などの資源リサイクルは、昔は組合員活動として組合員さんが取り組んでいました。90年代に一度大きな環境運動の波がありました。生協事業では、活動から学び店舗で回収を実施したり、帰りのトラックで回収したりするなど、仕

---

3) 全国生協組合員意識調査報告書2018年(日本生協連)より。1994年調査開始から女性比率が圧倒的に高い状況です。海外生協ではまったく異なります。

4) 世界経済フォーラム2020年の試算。たくさんの指標で測ります。コロナ禍で女性への負担が大きいという分析がたくさん出ています。でも近年毎年100位以下でした。

5) <https://jccu.coop/activity/> 「日本生協連」「組合員活動」で検索すると便利です。

組み作りをし、推進する法制度もでき、現在では回収活動は個々の「行動」になってきています。現代ではリサイクルセンターを持つ生協も多く、地球資源の節約や障がい者雇用増加に繋がっています。

その他、地域の人々がちょっとした困りごとに労力を提供しあう「くらしの助け合い」活動などが京都生協などでは全県にわたってあります。また、初めての子どもを中心に、子育て中の組合員さん向けの「子育てひろば」で息抜きできるよう親を応援する活動なども全国に広がっています。後者は、組合員活動を組合員に保障しあいましょう、という「一時保育」の仕組みとともに、子育てということを共助の仕組みにしたい、という女性中心の活動の特色をもっています。

近年は「機会平等を失った子どもたちをサポートしていこう」「格差社会を少しでもゆるくしよう」という気持ちが高まって、あるいは身近におなかを空かせた子どもがいることから、「子ども食堂」「学習支援」「フードバンクやフードパントリーと地域でのフードドライブ」という領域が増加してきました。これらは生協組合員というより、市民活動をする方が早くから取り組み、組合員活動にも登場してくるようになった経緯があります。小さな規模から始めることができ、自宅や自営業店舗などを開放する人もいます。

また、家計や収入の少ない人に、公的ではなく生協資金から貸付をしようという動きもみられます。ただし、貸し倒れ（返却できないまま逃げる）を防ぐためのきめ細かい伴走型支援が必要なため、取り組んでいる生協は少ないです。家族や周りの人たちの日々の支援が重要なのです。研究の視点から見ると、生協の組合員に「なれる」階層の人々は、そうではない人々に支援をすることがとても難しい状況を示しています。でももし関心がある方々はぜひ、信用生協という仕組みを学んで自分たちでもできないか、検討してみてください。

#### 4) 活動の費用

生協ではエリアやブロック（地域のまとまり）に活動費用を充てているところが多く、予算の範囲をみながら年度計画を立てるのも、重要な活動の一つになります。また、一時保育には生協組織からの予算がつくところも多いですし、生協商品の販売促進に繋がりそうであれば、事業予算から販促費用や広報費用を使える場合も多いです。逆に、赤字が大きく見込まれる活動などは、次年度続けるのは困難になります。やはり、組合員全体のニーズに合わない、思い付きや自分のやりたいことだけでは人と共に活動するのは難しいです。ですから、先輩たちの活動をみながら、どういうシーンで何時・何をするとニーズに合うのか、学んでいただければと思います。

新しい活動には費用や労力がかかりますが、ニーズに合うことが確信できれば、継続活

動に繋がると思います。社会の動きなどに注目して、ぜひご自身の関心に他組合員のニーズを重ね合わせて、計画を練っていただければと思います。近年のように、一般市民が「子ども食堂」「学習支援」「フードバンク」などに立ち上がっている時代は久しぶりです。すでに地域活動・市民活動をしていらっしゃる方も、ぜひ生協活動と連携（コラボレーション）を考えてみてください。

地域課題が鮮明な場合は、生協、農協、地域団体、NPO、父母会などあらゆる組織・グループと連携して早期にネットワークを作る事例もでてきています。先輩たちで地域活動に取り組む人にぜひお話をきいてみてください。近本にメール<sup>6)</sup>できいていただいてもいいですよ、全国の先進的な活動のスキームをご紹介します。スキームという言葉は、人モノお金がどういうふうに流れると効果的なのかを考えて作られた活動枠組みです。市民活動ではよく使われます。

## 5) 活動からの自立

リーダー層や理事は任期制のところが増えていきます。任期制のメリットは一人でも多くの組合員に活動の場を提供したい、それを地域社会に広げていきたい、という組合全体のミッションに叶うところです。また、長年勤めて事情通となることからパワーを握ること、また、高齢層中心の意思決定を防ぐことです。意にそぐわない場合、嫌ならさっさとやめることもできる。デメリットは、活動蓄積が少なくなるので「生協の知識」が豊富ではない方への伝達のしくみ（この冊子もそうですね）を作らないといけないこと、過去の経験や失敗を活かしくいことなどが考えられます。

任期に捉われず、ぜひ地域社会へ卒業していただけるとよいな、と私は考えています。生協での活動は、実は地域活動のインキュベーター（ふ卵器）であり、皆さんは地域での活躍も視野に、関心を深めていただければと思います。組合員活動から起業家、NPO（特定非営利活動法人）やボランティアグループのリーダーに成長した方々を私もたくさん知っています。活動の経験を活かしたり（特に人の繋がりが飛躍的にたくさんできる）、反面教師にしたり（一例で子育て支援をメインに活動したいのに、生協活動ぜんぶの面倒をみることを強制させられることから離れる）、ご自身それぞれの関心領域で、地域社会で仕事起こしや活動起こし・参加が可能です。地域政党を作って自治体政策に参加している人々もいます。人が経験を積んで活躍していく流れを地域循環といいます。リソース（人やモノを資源とみたてる）の多い・多様な地域ほどくらしやすいです。ぜひ、新しい地域社会作りの核になっていただければ、と思わずにいられません。

---

6) stkchika ★★ gmail.com ★★はアットマークにしてください。